

緑 化 通 信

2018
2月25日
(年7回25日発行)
第464号



発行所

一般社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階
TEL.(03) 3586-7361 FAX.(03) 3586-7577
URL : http://www.ueki.or.jp/
E-mail : honbu@ueki.or.jp



購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円

平成30年度通常総会

1月23日(火)

神戸市ANAクラウンプラザホテル神戸で

〔一社〕日本植木協会は、平成30年度通常総会を、1月23日(火) 神戸市の「ANAクラウンプラザホテル神戸」で開催した。

【総会前理事会】

通常総会の開会に先立ち、総会運営の確認等を行うため正副議長との打合せ及び総会前理事会を開催した。出席者は、三役、理事、正・副議長及び事務局。議事は平成30年度総会等への対応、役割分担等について打ち合わせを行い、円滑な総会・大会の運営を図ることとした。

【通常総会】

開会に先立ち、事務局が



穴倉会長挨拶

平成30年度通常総会の開催にあたり、沢山の会員の皆様にお集まりいただきましたことに感謝申し上げます。

はじめに、会員の皆様方に協会運営に際してご協力・ご支援を頂いていますことに対して厚くお礼申し上げます。

また、本総会にお忙しい中、林野庁長官、環境省水・大気環境局長及び各先生方がご来賓としてご臨席賜りましたこと心より感謝申し上げます。

さて、当協会は公益目的事業である「緑育啓発事業」「緑化関係人材育成事業」とともに、緑化に関する諸事業を実施しているところでございます。

昨年度は、農林水産省が進めている花き輸出に協力するためトルコで開催された展示会に参加いたしました。現地では植木への関心が非常に高く、また、評判が良いことを再認識いたしました。今後、植木の輸出についても積極的に取り組んでいく必要があります。カレンダーにつきましてもNHK出版社ともコラボにより評判が高くなっています。これから魅力ある植木生産に取組み、幅広くPRを行って需要の拡大に努めていくことが重要と考えています。

目前に迫った東京オリンピックや東北の震災復興などの事業に積極的に関与していくことも考慮せざるを得ません。これらの需要に応えるため協会一丸となって取組み、緑豊かな国づくりに貢献してまいりたい所存でございます。

結びに、本総会の開催にあたりご尽力いただいた関西ブロックをはじめとする皆様方に深く感謝申し上げますとともに、総会にご参集の皆様様の活躍を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

職功労表彰が理事の退任者

5名、ブロック長2名、支部長20名、従業員永年勤続表彰4名に対し授与され、続いて、特別庭園樹木(名木)認定5点及びアボック・カルタ賞が2名に授与された。また、緑育に顕著な活動をした関東・甲信越ブロックに対して感謝状が授与された。(表彰者等については別掲)

議案審議等

議長団は、議長に阪中晃氏(阪中緑化樹生産センター/和歌山県)、副議長に山本茂三氏(株)フタバ園/大阪府)と山中誠次氏(山中育樹園(株)/兵庫県)が選



左から副議長:山本茂三氏、議長:阪中晃氏、副議長:山中誠次氏

出され、議事録署名人には岩田正章氏(株)植徳岩田/京都府)、上田晴久氏(上田敷島園/奈良県)が指名された。

議長は、1号議案、2号議案の他に審議すべき議案の有無について会場に諮ったが意見がなかったことから提案された審議に入った。第一号議案 平成29年度決算報告及び監査報告について、事務局から決算及び事業報告の説明があり、



永年勤続表彰

太田道雄監事から監査の報告がなされ、賛成多数で承認された。

続いて第二号議案 役員

の選任について事務局から役員候補者推薦規程に基づき、理事14名、監事3名の候補者について説明があり、理事・監事候補者は満場一致をもって承認された。議長は、審議の終了をもって休会を宣したことから、新たに選任された理事・監事は別室において臨時理事会を開催した。

理事(有)あすま緑化園/埼玉(県)が議長となり役員

の選任を行い、理事互選により新しい執行体制が誕生した。再開後、秋山議長は理事会の結果を報告し、役員

の紹介を行い、会長に就任した穴倉孝行氏(有)グリーンシシクラ/埼玉(県)から挨拶があった。(新役員の氏名・役職は次項にて別掲)

続いて、事務局が、以下の報告事項について配布資料に基づき

1 平成29年度事業報告
2 平成30年度事業計画と収支予算について報告した。



古賀誠顧問



久住有生氏

意見交換会
意見交換会は、金岡栄典(株)撰樹園/兵庫県)司会進行で始まり、始めに、辰

復元や商業施設、教育関連に続き、穴倉孝行会長、古賀誠顧問の元自由民主党幹事長古賀誠氏のご挨拶、有村治子参議院議員からのメッセージ、森脇保仁兵庫県

已広之ブロック長の歓迎挨拶に続き、

○松居隆地氏 松居農園(株) (滋賀県)
○山中誠次氏 山中有樹園(株) (兵庫県)
○山本淳介氏 奈良県花き植木農業協同組合 (奈良県)

○倉見昌成氏 倉見苗園 (鳥取県)
○足立 洋氏 (有)足立農園 (鳥根県)
○丹下貴啓氏 (株)瀬戸内園芸センター (愛媛県)
○島井 聡氏 島井植物センター (高知県)
○古賀 晃氏 (有)大福 (福岡県)
○後藤英保氏 (有)大阿蘇造園 (熊本県)
○西郷純一氏 西郷農園 (鹿児島県)

従業員永年勤続表彰

○石倉真司氏 作樹園 (兵庫県)
○増田将幸氏 中島農園(株) (兵庫県)
○藪井康生氏 中島農園(株) (兵庫県)
○長家顕仁氏 中島農園(株) (兵庫県)

感謝状

○関東・甲信越ブロック(緑育)

特別庭園樹木(名木)

○野尻榮一氏 (株)野尻緑産 (福島県)

アボックカルタ賞

○山崎隆雄氏 (株)ワイズプランツ (埼玉県)
○栗原隆治氏 (有)栗原緑地 (埼玉県)

一般社団法人 日本植木協会会長表彰等

役職功労表彰

(理事退任)

○善林文雄氏 善林園芸 (栃木県)
○石井 豊氏 石井植木 (神奈川県)
○正木伸之氏 (有)正木樹芸研究所 (静岡県)
○大崎和生氏 (株)文化農園 (愛知県)
○加藤一巳氏 (有)辰巳園 (鳥取県)

(監事退任)

○太田道雄氏 (有)グリーンファームオオタ(愛知県)

(ブロック長退任)

○相澤 裕氏 (有)相澤園芸 (栃木県)
○加藤三久氏 丸久植物園(有) (三重県)

(支部長退任)

○外塚 潔氏 (株)外塚農園 (茨城県)
○佐藤康隆氏 (有)佐藤樹販 (栃木県)
○木暮伸人氏 (有)新田ナーセリー (群馬県)
○高橋一男氏 大塚緑化 (埼玉県)
○黒田 剛氏 農事組合法人成田ナーセリー(千葉県)
○大野富久氏 (有)長寿園 (東京都)
○宮治 潔氏 みどり園 (神奈川県)
○高村八郎氏 若松園 (静岡県)
○森田善朗氏 バードグリーン (岐阜県)
○館 良徳氏 (有)東勢園 (三重県)

記念講演

記念講演は、左官株式会社

社

平成30年度

各専門委員会等の委員長
抱負を語る



総務企画委員会 委員長
宍 倉 孝 行
(有)グリーンシシクラ・埼玉県



石巻復興の森づくり植樹祭

皆様におかれましては新しい年を迎えられ益々清

祥のこととお慶び申し上げます。平素より協会活動事業に対しご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、植木業界を巡る情勢をみますと、2年後に迫った東京オリンピック・パラリンピック、東日本大震災復興・復旧整備など緑化

樹木の需要拡大が期待され、また、政府の輸出拡大

方針に基づき全国花き輸出拡大協議会では植木類の輸出拡大に向けての取組みがなされているところです。

これらの取組みを着実に進めるため、関連団体等との連携を密にして情報収集に努めてまいります。

この中で、これまで取り組んできた石巻復興祈念公園は平成32年度の完成を目途に事業が本格化してくることから、北海道・東北ブロックと連携して樹木供給体制の確立を図ってまいります。

協会を見ますと、会員の減少、平成31年度をもって公益目的支出計画の終了など検討すべき問題があります。公益目的支出計画終了

役員新体制

会 長	宍倉 孝行 (再)	(有)グリーンシシクラ (埼玉県)
副会長	秋山 富雄 (再)	(有)あすま緑化園 (埼玉県)
専 務 事 理	阪上 和彦 (再)	(有)作樹園 (兵庫県)
専 務 事 理	船橋 修一 (再)	(有)船橋緑化 (鹿児島県)
専 務 事 理	菅原 建一 (再)	事務局
専 務 事 理	佐久 定規 (再)	(株)みちのくビオトープ(岩手県)
専 務 事 理	川口 健一 (新)	(有)千代田緑地 (茨城県)
専 務 事 理	横田 豊 (新)	(有)川繁園 (千葉県)
専 務 事 理	森田 善朗 (新)	(有)横田園 (東京都)
専 務 事 理	鶴飼 幸治 (新)	バードグリーン (岐阜県)
専 務 事 理	溝口 勝夫 (再)	(有)鶴飼農園 (三重県)
専 務 事 理	森本 泰好 (新)	(株)幽芳園 (大阪府)
専 務 事 理	牛嶋 克典 (再)	(株)徳島県植物市場 (徳島県)
監 事	岡部 清 (再)	第一滴翠園 (福岡県)
監 事	荒井 利昌 (再)	外部
監 事	加藤 一巳 (新)	荒井苗木園 (茨城県)
監 事		(有)辰巳園 (鳥取県)

後の協会における公益目的事業への関わり方、事業や委員会の見直しによるコストの削減などに取り組んでいく必要があります。これまで、協会オリジナルカレンダーの作成による樹木の普及や収益の確保に努めてきましたが、今後は、カレ



広報・普及委員会 委員長
秋 山 富 士 雄
(有)あすま緑化園・埼玉県



緑化通信

日頃は広報・普及委員会の事業に対しましてご理解・ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。引き続き広報・普及委員長を務めさせていただきます。どうぞ会員の皆様方宜しくお願い致します。

広報・普及委員会の業務は、緑化通信の発行、ホームページの維持管理、日本列島植木植物園の運営、その他広報活動事業等を中心に活動しています。

緑化通信は、自由投稿欄「TEAM」、賛助会員紹介シリーズ」を新たに設ける等、協会の興味・関心を充足させる内容掲載、また紙面や折込み広告サービスを通じて情報をお届けしています。今後も一層の内容充実を図っていきたく考えております。ホームページについては、今後も各種情報を迅速

ンダーのみならず新たな収益事業等への取組みを図り収益の確保をして行くことも重要と考えています。非常に難しい問題ではありますが、協会が解決すべく努力してまいりますので、会員の皆様のご協力・ご支援を心よりお願い申し上げます。

環境省主催による「みどり香るまちづくり」企画コンテストでは、平成29年度の日本植木協会賞には宮城県尚絅学院大学の「おちやっこ広場」香りを育る(おがる)人と地域」が受賞いたしました。このように地域社会貢献等に於いても重大な役割を果たしていかたいと思います。

今後、協会内外の情報受発信をしっかりと行い、委員の方々と全力で協会PRを行ってまいります。公益目的支出計画実施事業である緑育出前授業は、今後も皆様のお力をお借りし、全国各地でみどり(植

り(一社)日本植木協会運営につきまして、ご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。



地域性植物適用委員会の大谷崩れ植生調査

この度、調査・研究委員会を担当いたします阪上和彦です。はなはだ未熟ではございますが、ご指導・鞭撻のほど宜しくお願いいたします。会員の皆様方には日頃よ

木)の大切さを伝えていくよう努力してまいります。記念樹等贈呈事業は、昨年は6団体に記念樹を贈呈しました。今後は全国各地に記念樹をお届けし、自身で植え付ける緑のすばらしさを感じていただきたいと願っております。

環境省主催による「みどり香るまちづくり」企画コンテストでは、平成29年度の日本植木協会賞には宮城県尚絅学院大学の「おちやっこ広場」香りを育る(おがる)人と地域」が受賞いたしました。このように地域社会貢献等に於いても重大な役割を果たしていかたいと思います。

今後、協会内外の情報受発信をしっかりと行い、委員の方々と全力で協会PRを行ってまいります。公益目的支出計画実施事業である緑育出前授業は、今後も皆様のお力をお借りし、全国各地でみどり(植

り(一社)日本植木協会運営につきまして、ご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

現代社会において、地球環境の問題は今後の大きな課題です。地域や都市環境の改善にとって、緑化・植物は大変大きなツールです。日本植木協会は現在、会員数の減少やそれに伴う会費収入の伸び悩み、後継者不足、緑化関連事業の縮小、関連予算の緊縮化等々、大

変厳しい環境に直面しております。しかしながら、私たちの植木や緑化に関連する産業は今後最も必要な分野です。行政の力と民間の活力を生かし活性化していく方法を講じることも大きなポイントの一つです。関連各団体や関係機関と情報を密にし、住環境改善に貢献することは(一社)日本植木協会の大きな使命であり、大切な役割です。

この度、研修・資格委員会を担当することになりました。船橋修一と申します。会員の皆様方には日頃より協会事業にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。研修の事業では各ブロックの研修費が財政難の折、少なくなり大変申し訳ありませんが、今後とも意義のある研修会にして頂きますようよろしくお願い致します。

さて、研修・資格委員会では「公益目的支出計画実施事業」と「研修に関する事業」があります。公益目的支出計画実施事業では「環境緑化樹木識別検定、講習会」と「植生アドバイザー」の事業があり、協会員のみなさん一般の方の参加も募っています。特に樹木識別のポイント講習会は毎回盛況で多くの方が参加されています。しかし、対外的な事業としてではなく、会員の方々に参加していただきたい事業です。特に後継者の方には是非とも参加してほしいと思います。「樹木を

この度、研修・資格委員会を担当することになりました。船橋修一と申します。会員の皆様方には日頃より協会事業にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。研修の事業では各ブロックの研修費が財政難の折、少なくなり大変申し訳ありませんが、今後とも意義のある研修会にして頂きますようよろしくお願い致します。

さて、研修・資格委員会では「公益目的支出計画実施事業」と「研修に関する事業」があります。公益目的支出計画実施事業では「環境緑化樹木識別検定、講習会」と「植生アドバイザー」の事業があり、協会員のみなさん一般の方の参加も募っています。特に樹木識別のポイント講習会は毎回盛況で多くの方が参加されています。しかし、対外的な事業としてではなく、会員の方々に参加していただきたい事業です。特に後継者の方には是非とも参加してほしいと思います。「樹木を

この度、研修・資格委員会を担当することになりました。船橋修一と申します。会員の皆様方には日頃より協会事業にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。研修の事業では各ブロックの研修費が財政難の折、少なくなり大変申し訳ありませんが、今後とも意義のある研修会にして頂きますようよろしくお願い致します。

さて、研修・資格委員会では「公益目的支出計画実施事業」と「研修に関する事業」があります。公益目的支出計画実施事業では「環境緑化樹木識別検定、講習会」と「植生アドバイザー」の事業があり、協会員のみなさん一般の方の参加も募っています。特に樹木識別のポイント講習会は毎回盛況で多くの方が参加されています。しかし、対外的な事業としてではなく、会員の方々に参加していただきたい事業です。特に後継者の方には是非とも参加してほしいと思います。「樹木を

この度、研修・資格委員会を担当することになりました。船橋修一と申します。会員の皆様方には日頃より協会事業にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。研修の事業では各ブロックの研修費が財政難の折、少なくなり大変申し訳ありませんが、今後とも意義のある研修会にして頂きますようよろしくお願い致します。



中部ブロック研修会

この度、研修・資格委員会を担当することになりました。船橋修一と申します。会員の皆様方には日頃より協会事業にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。研修の事業では各ブロックの研修費が財政難の折、少なくなり大変申し訳ありませんが、今後とも意義のある研修会にして頂きますようよろしくお願い致します。

さて、研修・資格委員会では「公益目的支出計画実施事業」と「研修に関する事業」があります。公益目的支出計画実施事業では「環境緑化樹木識別検定、講習会」と「植生アドバイザー」の事業があり、協会員のみなさん一般の方の参加も募っています。特に樹木識別のポイント講習会は毎回盛況で多くの方が参加されています。しかし、対外的な事業としてではなく、会員の方々に参加していただきたい事業です。特に後継者の方には是非とも参加してほしいと思います。「樹木を

この度、研修・資格委員会を担当することになりました。船橋修一と申します。会員の皆様方には日頃より協会事業にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。研修の事業では各ブロックの研修費が財政難の折、少なくなり大変申し訳ありませんが、今後とも意義のある研修会にして頂きますようよろしくお願い致します。

さて、研修・資格委員会では「公益目的支出計画実施事業」と「研修に関する事業」があります。公益目的支出計画実施事業では「環境緑化樹木識別検定、講習会」と「植生アドバイザー」の事業があり、協会員のみなさん一般の方の参加も募っています。特に樹木識別のポイント講習会は毎回盛況で多くの方が参加されています。しかし、対外的な事業としてではなく、会員の方々に参加していただきたい事業です。特に後継者の方には是非とも参加してほしいと思います。「樹木を

この度、研修・資格委員会を担当することになりました。船橋修一と申します。会員の皆様方には日頃より協会事業にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。研修の事業では各ブロックの研修費が財政難の折、少なくなり大変申し訳ありませんが、今後とも意義のある研修会にして頂きますようよろしくお願い致します。

さて、研修・資格委員会では「公益目的支出計画実施事業」と「研修に関する事業」があります。公益目的支出計画実施事業では「環境緑化樹木識別検定、講習会」と「植生アドバイザー」の事業があり、協会員のみなさん一般の方の参加も募っています。特に樹木識別のポイント講習会は毎回盛況で多くの方が参加されています。しかし、対外的な事業としてではなく、会員の方々に参加していただきたい事業です。特に後継者の方には是非とも参加してほしいと思います。「樹木を

この度、研修・資格委員会を担当することになりました。船橋修一と申します。会員の皆様方には日頃より協会事業にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。研修の事業では各ブロックの研修費が財政難の折、少なくなり大変申し訳ありませんが、今後とも意義のある研修会にして頂きますようよろしくお願い致します。

さて、研修・資格委員会では「公益目的支出計画実施事業」と「研修に関する事業」があります。公益目的支出計画実施事業では「環境緑化樹木識別検定、講習会」と「植生アドバイザー」の事業があり、協会員のみなさん一般の方の参加も募っています。特に樹木識別のポイント講習会は毎回盛況で多くの方が参加されています。しかし、対外的な事業としてではなく、会員の方々に参加していただきたい事業です。特に後継者の方には是非とも参加してほしいと思います。「樹木を

この度、研修・資格委員会を担当することになりました。船橋修一と申します。会員の皆様方には日頃より協会事業にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。研修の事業では各ブロックの研修費が財政難の折、少なくなり大変申し訳ありませんが、今後とも意義のある研修会にして頂きますようよろしくお願い致します。

さて、研修・資格委員会では「公益目的支出計画実施事業」と「研修に関する事業」があります。公益目的支出計画実施事業では「環境緑化樹木識別検定、講習会」と「植生アドバイザー」の事業があり、協会員のみなさん一般の方の参加も募っています。特に樹木識別のポイント講習会は毎回盛況で多くの方が参加されています。しかし、対外的な事業としてではなく、会員の方々に参加していただきたい事業です。特に後継者の方には是非とも参加してほしいと思います。「樹木を

コンテナ農場(100万本生産)



コンテナ農場



オリーブ



カンツバキ赤花と白花

主な生産物

クロマツ コニファー類 ヤシ類
カシ類 クスノキ タブノキ
モチノキ ウバメガシ オリーブ
カクレミノ クロガネモチ
サンゴジュ シマトネリコ
マテバシイ ヤブツバキ ヤマモモ
レッドロビン オウゴンマサキ
カンツバキ(赤花と白花) サザンカ
シャリンバイ ツツジ類 トベラ
ハマヒサカキ ヒサカキ ミカン類
サクラ類 イロハモミジ ハナモモなど

(株)瀬戸内園芸センター



愛媛県今治市旦甲 248-1 TEL 0898-48-0010(代) FAX 0898-48-8187
http://www.setoen.com/ E-mail : setouchi@setoen.com

緑育出前授業運営実行委員会

青年部会福岡県支部協力
「子どもたちに緑の大切さを」

昨年につき、『Let's Go アンビフェスタ -オゴオリ 2017』に参加

昨年10月22日(日)に福岡県小都市にてアンビネット小都市地域連携協議会主催の『Let's Go アンビフェスタ -オゴオリ 2017-』。『豊かな心、幅広い視野、それぞれの志を持つ(アンビシャスな)たくましい青少年の育成』を目指して開催され、私たち青年部会福岡県支部も体験型ワークショップのひとつとして緑育出前授業を行いました。

当日は、台風21号が近づいており風も強く、また、第48回衆議院議員総選挙日と重なり、あわただしい中でしたが、沢山の方が来場され、総勢500名近い方に、色々な形で緑育を体験して頂きました。

私たちの緑育は、「知る・見る・ふれる」の三つをテーマとして授業内容を考え、それぞれの授業がつながるよう工夫し、子供たちに緑の存在を知ってもらい、緑をもっと身近に感じてもらうように心がけました。

まず「知る」では『木になる漢字パズル』を使い、どんな植物にも名前があることを楽しみながら知ってもらった。漢字を知らない子供から漢字を使わない大人までみんなが夢中でチャレンジし、隣で解説するこちらの方が追い付かないぐらいでした。「見る」では、緑育の定番である『この木何の木?』を予定していましたが、あいにくの強風で早々に断念。残った最後の「ふれる」では、「生きた苔玉作り体験」を行い、昨年的大幅増の80名近くの方に緑にふれてもらいました。

復習のためと、緑育出前授業を忘れないでほしいとの思いで、参加者には苔玉お持ち帰りのほかに、支部で準備した「漢字のタオル」を配布しました。(もちろん協会パンフレットも忘れていません)

最後になりますが今回の緑育にあたり、協会事務局、福岡県支部親会の皆様にはご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。これからも緑育で沢山の子供たちに笑顔をとどけ、緑の大切さを伝えていきたいと思ひます。



こけ玉



地元テレビ局の取材もありました！



木への漢字タオルをプレゼント



苔を包むお手伝い



こけ玉作りで大盛況！

い、などいろいろな意見

日本列島植木植物園は、1社ではなかなか出来ない事でも複数社あつたれば生産量も販売量も増加させることが可能です。こんな事やったらどうか？、こんなグループを立ち上げてみた

さ方方には日頃より日本列島植木植物園に対し、多大なるご協力とご理解を賜り、心より感謝申し上げます。

前期より日本植木列島植物園の委員長を務めさせて頂くことになりました。皆



秋の列島視察(南美好緑化にて)



日本列島植木植物園運営委員会委員長

石川 剛

(石川園・東京都)

この委員会には発足当初から携わらせていただいていたこともあって、「緑育」という言葉が徐々に広く知られるようになってきたと

本年度より緑育出前授業実行委員会の委員長を務めさせて頂いたこととなり、皆さまのご支援を頂きました。皆さまの事業運営をしてまいりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。



緑育出前授業(鹿児島県)



緑育出前授業運営委員会委員長

生駒 順

(生駒植木・神奈川県)

この委員会には発足当初から携わらせていただいていたこともあって、「緑育」という言葉が徐々に広く知られるようになってきたと

本年度より緑育出前授業実行委員会の委員長を務めさせて頂いたこととなり、皆さまのご支援を頂きました。皆さまの事業運営をしてまいりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

本年度より緑育出前授業実行委員会の委員長を務めさせて頂いたこととなり、皆さまのご支援を頂きました。皆さまの事業運営をしてまいりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

本年度より緑育出前授業実行委員会の委員長を務めさせて頂いたこととなり、皆さまのご支援を頂きました。皆さまの事業運営をしてまいりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

本年度より緑育出前授業実行委員会の委員長を務めさせて頂いたこととなり、皆さまのご支援を頂きました。皆さまの事業運営をしてまいりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

本年度より緑育出前授業実行委員会の委員長を務めさせて頂いたこととなり、皆さまのご支援を頂きました。皆さまの事業運営をしてまいりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

本年度より緑育出前授業実行委員会の委員長を務めさせて頂いたこととなり、皆さまのご支援を頂きました。皆さまの事業運営をしてまいりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

この度、当委員会委員長を拝命いたしました中部ブロック三重県支部の鶴飼幸治です。

私が日本植木協会の青年部に入会させて頂きましたのが平成元年で、かれこれ30年の月日が経ちました。その時代はバブル崩壊前の時代で日本の景気は最高潮でとにかく忙しかった事を



公共用緑化樹木市場調査CD



供給可能量調査委員会委員長

鶴飼 幸治

(有鶴飼農園・三重県)

記憶しております。当社があります三重県の特産品のサツキを始めとするツツジ類の需要が特に多く、生産量が追いつかずご注文にお応えするのが本当に大変な時代でした。

その頃、よく思った事が、お客様の求めている植物をもっと簡単に探す方法が無いのだからと言う事でした。現在の様にインターネットも携帯電話すら普及していない時代です。木を探すとすると、農家の方が仕事に出かける早朝の時間に電話をしたり、繋がらなければ自宅へ出向いて在

記憶しております。当社があります三重県の特産品のサツキを始めとするツツジ類の需要が特に多く、生産量が追いつかずご注文にお応えするのが本当に大変な時代でした。

記憶しております。当社があります三重県の特産品のサツキを始めとするツツジ類の需要が特に多く、生産量が追いつかずご注文にお応えするのが本当に大変な時代でした。

記憶しております。当社があります三重県の特産品のサツキを始めとするツツジ類の需要が特に多く、生産量が追いつかずご注文にお応えするのが本当に大変な時代でした。

記憶しております。当社があります三重県の特産品のサツキを始めとするツツジ類の需要が特に多く、生産量が追いつかずご注文にお応えするのが本当に大変な時代でした。

記憶しております。当社があります三重県の特産品のサツキを始めとするツツジ類の需要が特に多く、生産量が追いつかずご注文にお応えするのが本当に大変な時代でした。

UPL 一年生イネ科雑草から広葉雑草まで幅広く防除する!!

グリーンアーザラン®液剤

日本芝用除草剤

製造 保土谷UPL株式会社

販売 ISK 石原バイオサイエンス株式会社

ホームページ アドレス http://ibj.iskweb.co.jp

農林水産省登録 第22788号

®はユービーエルジャパン(株)の登録商標

庫の確認や発注したもので、地元にはない品物になる。と、他産地の業者様にお願ひして写真を撮って頂き、フィルムを送ってもらい、届いたら写真屋を持って行き、現像の上がるのを待つて、そのまま先方に速達で送って確認してもらった時代でした。

今ならスマホでも携帯電話で撮った画像を瞬時に先方に送ってもらえます。このように時代の移り変わりとともに便利な時間短縮ツールが登場してきています。そういった新しい手法をこの委員会にさらにうまく活用していけたらと思ひます。

特に再来年開催されます東京オリンピック・パナリ

来年の平成31年を最後に、新しい年号の時代となります。この時代の変わり目と国を上げての大きなイベントを目の前にして、当委員会も更に会員の皆様により使い易く、有益な情報を提供出来る様な委員会にしたいと思ひますので何卒宜しくお願い申し上げます。

ンピックを控え、さらに材料供給の困難な樹種が増え来ると思ひます。その様な中、当委員会の役割も更に重要になってくるのではないのでしょうか。当委員会メンバーにより検討を重ね、より生産供給量の情報を見える形にして行けたらと思ひます。



環境緑化樹木識別検定実施委員会
学術委員会 委員長
川原田 邦彦
(確実園園芸場・茨城県)



樹木識別ポイント講習会

日頃におきましては、環境緑化樹木識別検定実施委員会、学術委員会のご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

マスコミは景気回復をうたっていますが、周りを見回しても「景気がいい」という声はまったく聞えていない。昨今、大企業や金持ちだけの景気なのではないか。植木の業界は景気のよい時の商売なので、本当に景気がよくならないことにはどうしようもありません。現在の造園界は管理ばかりで、植栽はほとんどない状況です。

(一社)日本植木協会の外部に向けての事業の中で、いくつかの柱のうち、環境緑化樹木識別検定は外部からの評価が非常に高く、一昨年から、樹木医の講習会の授業にも組み込まれています。植物を取り扱う職業の中で、ずっと以前から植物を知らず、設計から工事行われてきた資格試験は、我々にとって

待望のもののですが、残念ながら受験者は頭打ちになっています。講習会は盛況で、応募しても講習できないということもありま。その中の樹木医講習は、画期的で外部からの期待をものたります。講習会は6月に東京で行い(希望がある場合は地方でも行います)、試験は7月に同様に行っています。特に会員では青年部に期



地域性植物適応委員会 委員長
國 忠 征 美
(グローバルグリーンクニタダ・岡山県)

アテツマンサク Hamamelis japonica var. bitchuensis の落葉の葉裏(星状毛)。アテツマンサク(マンサク科マンサク属)は中国地方から四国・九州に分布する落葉の小高木。落葉した後まで葉両面に星状毛が多く残るのが特徴である。環境省力 RDB カテゴリーは準絶滅危惧 (NT)。



1. 地域性植物の始まり

20年前、徳島県剣山国定公園内に於いて、『道路法面の保護は現地及びその周辺の植物での保護を行う』との徳島県池田土木事務所より指導があった。池田土木事務所と施工業者が相談の上、周辺に固有

移動地域については「日本植物区系 前川文夫著 玉川選書」、「地図でわかる樹木の種苗移動ガイドライ」津村義彦、陶山佳久著 文一総合出版」を参考にしている。地域性植物の生産及び納入に付いては、(委託受託)生産が主であり、対象地域の植生調査を行い、生産する植物の選定を行う。また規格については、種類や個体によって生長速度が異なる為、幅を大きくとるよう

林があり、そこを管理する徳島森林管理署の許可を得て、植生調査及び採種、生産を行い施工された。これが地域性植物の生産の始まりであった。

その後、徳島県上勝町高丸山に於いても同様の施工が行われ、徳島森林管理署の治山工事にも地域性植物が使用された。

この計画には徳島県の自然保護関係の委員をされていた森本泰治先生の力が大きかった。

その後、近畿地方では、景観保護、ダム周辺、スキー場跡、一般企業敷地内、広葉樹転換の造林等に地域性植物が使用されている。

今後を見守りたい。3. 将来 地域性植物は、施工地によりまちまちであり、植生調査を行った上での提案が必要となり、植生管理士が力を発揮する場となる。従って、植生調査委員会との関係を密にする必要がある。

また、植生調査時にはそれぞれの地域の貴重植物(絶滅危惧種)についても考慮し、その保護に努めていく必要がある。

また、植生調査時にはそれぞれの地域の貴重植物(絶滅危惧種)についても考慮し、その保護に努めていく必要がある。



植生アドバイザー育成講座(群馬県)



植生調査委員会 委員長
葛 西 伸 彦
(株グリーンナーセリー前田・愛知県)

植生調査委員会の主な事業としては、「植生アドバイザー育成講座」と「植生

計コンサルタントや、ゼネコン、造園会社の方々が多く受講するようになり(一社)日本植木協会における公益目的の事業としても一定の役割を担っています。

また、植木や苗木の需要拡大につながることも今後期待されています。なお、この講座は、その優れた内容から農林水産省・環境省共管の人材育成事業に登録されており、今年8月26日・29日で開催予定で

また、植生調査時にはそれぞれの地域の貴重植物(絶滅危惧種)についても考慮し、その保護に努めていく必要がある。



協会カレンダー



カレンダー委員会 編集委員長
森 川 雅 広
(有森川園芸・千葉県)

平成28年よりカレンダー編集委員長を務めさせて頂いております森川雅広と申します。

の3コース修了者には実技試験が免除されるようになっております。この試験は農林水産省・環境省共管の人材認定事業に登録されております。

また今年、各セミナーの参加者、修了者、植生管理士のフォローアップとしてスキルアップセミナーを6月・7月に開催したいと考えております。セミナーを卒業すること、植生管理士の認定される事が最終目的ではなく、今後仕事に役立てて頂けるよう勉強できるセミナーの開催や、管理士の方に調査依頼の情報を提供していきたいと考えて

今後植生調査委員会へのご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

きカレンダー編集委員一同心より御礼申し上げます。

植木協会の皆様には、毎年、(一社)日本植木協会のカレンダーをご注文頂

しかし、協会のカレンダーが無くなり寂しいというご意見を会員の皆様や協会外の大勢の方々に頂き、再出する事となりました。

今回のカレンダーは、NHKの「趣味の園芸」の編集部にも協力をお願いし、今迄のカレンダーとは少しイメージが変わっていることに皆様もお気づきになら

「趣味の園芸」の物販のページで販売させて頂くことやインターネットでの通販も視野に入れて制作を進めて参ります。

カレンダーの制作を通じて(一社)日本植木協会のイメージアップと会員の皆様とお客様とのコミュニケーションのツールとして活用して頂ければと思います。

今後ともカレンダー編集委員会のご理解とご協力をお願い致します。

地方かわら版

千葉県の現状

支部長 宇津木 浩幸
(株宇津木農場)



千葉県は、関東の一大消費地に近く、最近では圏央道の東関東までの開通もあり、よりの物流に於ける利便性が向上し、生産地としての地産地消に非常に恵まれた環境になっております。また、これからの諸条件から生産、流通、両者といった経営スタイルも千差万別です。

生産状況では、高木露地栽培の減少、また、後継者、技術者の減少が挙げられます。地中コンテナの栽培は、4mクラスまであり、生垣用樹等が主体になって

この様な生産、流通の変化に対応していくことは、大変困難な事ではあります。が、時代に対応した情報の共有化により、一定の生産量を高い品質で維持しつつ、より利益の伴う魅力ある業界として存続していく様、支部会員一同精進してまいります。





連載第7回 「植物たちのハーモニー」

風土と文化と季節の色彩…春色に想う…

景観デザイナー・園芸療法士 榎島みどり氏

大寒の青空に映える紅梅が私達の丸い背中をピンと伸ばさせ、香りは歩みを誘う。春を、やはり好きなヒトは多いのだと思う。

冬と春を分かち節分、それに続く立春を過ぎると、気分は急に春一番を待ち始める。二十四節気の内あまり話題にならない雨水に続き、三月の初めには啓蟄。地上も地下も蠢きはじめ、明るい日差しを体感する時間が増えて春分を迎える。この頃から世間はサクラ・サクラと騒ぎ出す。4月初め5日頃は清明。明るい陽ざしと清々しい空気、萌える色彩が連想される。ウキウキする。晴れやかな行事がこのシーズンに多い理由が頷ける。



奥村土牛『吉野』

一年中を15日ごとに区切って連ねてばかりもいられないが、私達の心理状態が気候風土によって大きく影響を受けていることは明白だ。育った土地柄から受ける色彩の学習は暮らしの経験であるからこそ、自然の色のハーモニーはヒトの心を動かす。異常寒波に見舞われている今季のような冬は、春を待ち焦がれて、暖かい雰囲気特に欲しくなる。

こうした配色イメージには、稲作農業の中で日本人の暮らしが育んできた感覚が織り込まれており、稲作を支えた気象と、そこで生まれて伝承されてきた文化や慣習の影響が内蔵されている。

季節感を変える明度と彩度

冬花壇を彩る植物たちの色を春のそれと比べると、明度と彩度の違いに気付く。また、降水量と気温の変化が季節の色彩イメージに大きく関わっていることがわかる。（ここでは太平洋岸の関東の気候をもとに見直してみる）



春の配色イメージ



冬の配色イメージ

咲く緋梅は縮んだ気分を覚醒させてくれる。白梅に先駆ける紅梅の開花は、この時期、自然からの贈り物のように思う。

一雨ごとの気温上昇とともに、植物の明度と彩度が増し、空の青は緊張感が和らぎ、湿り気を含んで穏やかな色調になっていく。マリー・ローランサンの作品（右上）のように。

プロフィール

日本女子大学卒業 学術博士
東京農業大学客員教授

色彩や香りなど五感刺激を活かした造園、空間計画を得意とする。ハーブや植物療法の先駆者。身近な園芸から公共施設まで、心地よい空間づくりを幅広く実践している。

主な作品

『お台場地区ウォーターフロント』『東京ビッグサイト外構』『レストラン・ジャルデ

ィーノ』『山陽道権現湖PA』『国営えちご丘陵公園「暖の館」』『イングリッシュガーデン』『チュニジア大使公邸』『多摩川アートラインプロジェクト』 他

主な著書

『ハーブで美しくなる』『ハーブ新来の香草たち』『ボタニカルアートの世界』『ハーブ図鑑110』『ハーブを楽しむ本』『楽しいハーブ入門』『知りたがり屋のハーバルライフ』『Herbal Tea』『ハーバルガーデン』 他

春を知らせる花色

春を待ち、春を象徴するのは黄色。最も軽い色相が冬を終わらせる。色彩学にはいくつかの考え方があるが、黄色に関しては「自然界の色の中で最も光に近い」としたゲーテの色彩論が馴染む。光学的なニュートンの考え方とは異なり、私達が色をどのように感じるかを基礎にしているからだろう。景観を考へるときには特にそう思う。「春」の語は自由、開放、始まり、を象徴するが、「束縛を払って軽くなる」と捉えれば黄色の軽やかさとの共通点が面白い。

早春から、フクジュソウ、スイセン、オウバイ、ロウバイ、マンサク、ミツマタ、レンギョウ等の黄色い花ーヨーロッパではミモザーが咲き進むうちに、硬い冬芽は緩み、膨らみ、柔らかい黄緑色の葉が顔を出す。そこに白、ピンク、パープルが加わり、明るく清々しい大気に包まれて春爛漫となる。辛夷、桜、桃、菜の花、紫花菜がうす曇りの空と若草の間に広がる。

華やかで穏やかなカラーハーモニーが春のイメージ。だとすると、11月に植え込まれた花壇のパンジーをゴールデンウィークまで持たせることの難しさが見えてくる。折々見かける青紫・濃黄・白の三色と葉ボタンを組み合わせたスタイルはどんな季節を想定してイメージを創っているのだろう。季節柄、半年間もそこにあり続ける花壇だからこそ、見る人たちを心地よく刺激するように、供給



初夏のフラワーガーデン

一年間の連載をお読みくださりありがとうございました。
植物たちの個性に皆様のご興味が広がれば幸いです。

（文・写真・ガーデンデザイン 榎島みどり）

地方かわら版

「私のまち 今治市について」

中国・四国ブロック 丹下 貴啓

（株）瀬戸内園芸センター 愛媛県

昨年、64年ぶりに初の単独開催「愛顔つなぐ愛媛国体・えひめ大会」が盛大に開催されました。自社において、樹木の植栽はありませんでしたが、開催周りの草花関係は作業があり、道路・開催場の樹木維持管理が短期間で行われ国体前は非常に忙しい日程でした。当時、松山市内の幹線道路を整備していましたが、遅れ？からか、植栽工事は現在、年度末工事で、クロガネモチ、サクラ、シヤリンバイ、カンツバキなどが植栽されています。また瀬戸内海のしまなみ海道を中心に「サイクリストの聖地」として多くの人に訪れて頂けるように自転車走行しやすい道路の整備も行われていますが、樹木の方は、植栽の予定はありません。最近の道路緑化は、管理費の削減で樹木が傷み、新しく植え替える様子も少なく残念です。戦後、自動車の普及と共に道路緑化がはじまり、今こそ、思い切ったリメイクする時期であると考えます。道路緑化が国・地方自治体の財政削減とともに衰退してはくはありません。

今治市は、海域において村上海賊が活躍したことで有名ですが、瀬戸内の海上交通の要衝として古くから海運業が発達し、海ととも



大学植栽で採用された直幹性キンカン



獣医学部今治キャンパス

している樹種を中心に学園内に植栽する予定となっています。タフノキ、マテバシイ、ヤマモモ、クロガネモチ、シラカシなどです。6年制の獣医学科、4年制の獣医保健看護学科、1学年200名の大学生が入学予定です。そしてサッカー元日本代表監督、岡田武史オーナーの今治FCもJ3昇格へ向け、サポーターの応援も盛んになってきました。このように沢山の事業主、ニュースの中にどれだけ、環境や樹木や造園に対して、理解し、採用され、植えて頂けるか、次世代に向けてのPRが必要となりそうです。ご寄稿の機会を頂きありがとうございます。

コンテナ部会

平成30年度通常総会

平成30年度コンテナ部会通常総会とは1月24日(水)9時より、TKP神戸三宮カンファレンスセンターホール5Bで開催されました。部会員29名の出席を得て、松村幹了副部会長の開会宣言により総会が進行しました。

吉澤信行部会長が病欠欠席のため、松村副部会長が部長挨拶を代読されました。いまの流行は仮想空間やAIの業界ですが、植木業界は仮想やAIでは処理できない業界なので、しっかりモノを提供することを重点に部会や協会の運営に携わっていききたい挨拶がありました。

次に、来賓挨拶として阪上和彦植木協会副会長より、前日の協会通常総会でご講演を頂いた左官株式会社久住有生氏の講演会に触れ、造園・施工業界にも現場主義に専念した新しい技術の習得・育成が必要であるご挨拶をいただきました。最後に森田善朗担当理事より、仲間とのつながりを大切にして、目標を持っていきたいご挨拶をいただき、議事へと移りました。

【総会議事】

議事に先立ち、司会の松村副部会長より議長選出を出席者に諮ったところ、「司

りました。

会者一任の声により司会は大阪府支部関連不動産株式会社の岩崎博章氏が指名され、承認されました。

議長は議事録署名名人の選出を出席者に諮ったところ、「議長一任の声により株式会社レコムグリーンの村田利博氏と有有限会社グリーンファームオオタの太田道雄氏を指名し、出席者の承認を得ました。

議長は審議に際して、第1号議案から第5号議案のほかに審議すべき議案の有無について出席者に諮りましたが、発議がなかったことから第1号議案から第5号議案について審議するこ

とになりました。

また議長は、第1号議案と第2号議案及び第3号議案と第4号議案は関連性が強い為、それぞれ一括採決を提案し、賛成多数で承認されまし。

議長は第1号議案と第2号議案について出席者に諮ったところ、意見等はなく、賛成の拍手で第1号議案と第2号議案を一括で承認されました。

第1号議案

平成29年度事業報告は各委員長(松村副部会長、飯田副部会長、恒石副部会長)より、事業報告がされました。なわ、国内研修の視察報告では、プロジェクトを使用して分りやすい説明がされました。

第2号議案

平成29年度決算報告及び



松村副部会長

監査報告は事務局より決算報告を行った後に、竹中昭雄監事より監査報告がされました。

議長は第1号議案と第2号議案について出席者に諮ったところ、意見等はなく、賛成の拍手で第1号議案と第2号議案を一括で承認されました。

第3号議案

平成30年度事業計画(案)は、事務局から事業計画案が報告されました。

第4号議案

平成30年度収支予算(案)は、事務局より収支予算案が報告されました。

第5号議案

議長は第3号議案と第4号議案について出席者に諮ったところ、株式会社文化農園の大崎和生氏より、「屋上緑化用植物の耐乾燥性に



阪上副会長

業 松村幹了氏、有有限会社飯田園芸 飯田貴大氏、株式会社岡宗農園 恒石昌夫氏

監事 株式会社中村農園 中村健次氏、農事組合法人成田ナースリー 黒田剛氏

【報告事項】

1 研修会

事務局より7月11日(水)12日(木)に伊勢方面で実施予定が報告されました。

2 各賞受賞者の紹介

事務局より、各賞の受賞者紹介がありました。

理事退任(2名) 正木伸之氏、大崎和生氏

監事退任(1名) 太田道雄氏 支部長退任(10名) 外塚繁氏、佐藤康隆氏、高橋一男氏、黒田剛氏、高村八郎氏、森田善朗氏、松居隆地氏、倉見昌成氏、足立洋氏、丹下貴啓氏

意見等はなく、賛成の拍手で第5号議案は承認されました。その後、新役員は別会場で三役が互選され、拍手で承認されました。

部会長 小金井園 吉澤信行氏

副部会長 株式会社大坂林



注) ヒノキアスナロの学名について

ヒノキアスナロの変種学名の var. hondae は、主要な図鑑8冊の本で確認したところ、hondae hondai の2つの学名が出てきて、それぞれ4冊ずつとなり決めかねましたが、協会が関係している『緑化樹ガイドブック』等では、参考文献を平凡社の『日本の野生植物 木本Ⅰ』としていることと、命名者の牧野富太郎が共に hondai 使用していることから、hondai を採用しました。

※ナショナルプランツ コレクションとは、世界的に価値のある植物の種・品種等を属のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立てる事を目的としたコレクションです。



赤尾健蔵氏による講演

れた建造物が多いのもその特徴になる。

一方で、製材された木を使って建築する場合は、生息していた地域など個々の情報がないため、生育した環境や特性を生かした建築物が少なくなった。そのため、鎌倉時代以前に建立された法隆寺、薬師寺や唐招提寺は1300年後の今でも7割以上が元の木を使っているが、室町時代の建築物は400年程度しか維持されていない。

以上の講話で、このような道員の変遷は、大工の作業工程の変化につながり、建造物の細部から寿命までに大きく影響することを知りました。

最後に松村副部会長の謝辞で講演会は終了しました。

(公財) 竹中大工道具館 <https://www.dougukan.jp/>

【総務会報告】 12時40分よりの総会会場ではコンテナ部会役員、担当理事、協力会4社の総勢15名が参加して懇談会が開催されました。

恒石副部会長の司会で進行された。会議に先立ち松村副部会長、森田理事の挨拶後に参加者全員が自己紹介と事業紹介を行い、議事に入りました。

議題1 協力会との質疑応答

Q 新製品を製造依頼する場合のフォークキャストはどのくらいか。

A 新規の特注品は金型費用が重要で、費用対効果・減価償却費用の判断が必要。

協会全体で統一した要求があると現実味がある。

既製品だけの売上に満足していないので皆様の要望を期待している。(株東海化成、(株阪中緑化資材)

Q ドローンについて教えて欲しい。

A ドローンの操縦は資格が必要なので、教習の場を設けている。

農業散布用ドローンは400万円程度(軽トラに乗るサイズより大)。(大信産業(株))

Q ホームセンター等でも販売している商品の価格・品質は同じか。

A 購買者・代理店の指摘により、ホームセンターの販売価格は割高にしている。(株東海化成)

ホームセンターで売っているトレイは微妙にサイズが異なっている。(株阪中緑化資材)

Q 農薬関係の勉強会をコンテナ部会でできないか。

A 代理店にはダイリグの講習会、生産者には農薬全般の話をしている。

コンテナ部会でも提供することは可能。農薬の使用範囲の見直し時期にあるので現場の声を出してほしい。(大信産業(株))

議題2 春季資材特別セー

今年度も春季資材特別セー

ルを3月9日から4月10日に実施するので、各協力会のご協力をお願いしたい。

以上をもって、総会及び総務会すべてを13時30分に終了しました。



連載 第6回

都市緑化の価値と意義

ミツバチから見た都市緑化の豊かさ

東京都市大学環境学部客員教授 博士（デザイン学） 加藤 真 司 氏

沖縄県那覇市にある国営公園である首里城公園は、いつも多くの観光客であふれていますが、そこから金城町の石畳の方角に下りていったあたりに民間の養蜂場があります。養蜂場と言っても三階建て建物の屋上に巣箱が設置されたものです。那覇市内という町中での養蜂はいくらか違和感を覚えますが、農地では農薬を使用するため、農薬を使用しない都市内の花々から採取されるハチミツの方が良質だという実情があり、それなりに需要があるそうです。

ミツバチはおおむね半径2km以内に存在する花の量によってハチミツの採取量が決まります。このため、多くハチミツが採れば、そこには多くの花々が咲いているとみなすことができます。ところで、現在、わが国の主な都市で都市内養蜂が盛んです。その最たるものは東京の銀座の建築物屋上で営まれている養蜂でしょう。実は意外なことに、銀座で採れるハチミツの量は首里で採れるハチミツの約5倍もの収量があるそうです。つまり、ミツバチが利用できる花の量が銀座の周辺の方が多いことを意味しています。また、首里に関して言えば、20年前は今の2倍ものハチミツが採れたようです。つまり、この20年でミツバチが利用できる花の量が半分になってしまったということが窺えます。ただし、必ずしもハチミツの採取量が多いからといって、そのまま自然度が高いとまでは短絡的には断定できません。それは、ミツバチが蜜を吸うことができない花があるからです。沖縄でよく見かけるハイビスカスやブーゲンビリアなどは、ミツバチでは口が蜜腺まで届かず蜜の採取ができないそうです。

ただし、そうした事情を差し引いても、やはり5倍もの差が生じるということは、銀座を中心とした都心の方が首里よりも多くの花が存在していると見なさざるをえません。

ところで、養蜂業の主な収入は蜂蜜の売買によるものだと思っていましたが、それに伴う収入はむしろ少なく、主な収入は農家へのミツバチ成体の販売だそうです。農家は農作物の受粉作業をミツバチに担わせているのです。実は、人が食べている植物の7割は虫が受粉をする虫媒花であり、さらに、そのうちのおよそ半分はミツバチが受粉を担っているとされます。つまり、ミツバチは人間の食を支えているのです。しかし、年々ミツバチの生命力も弱っているそうです。通常3年は卵を産む女王蜂が1年しか生まなくなったり、個体数の減少で



ミツバチ



屋上での都市養蜂（首里城近くで）

冬が越せなくなったりしている事例も見られるようです。ちなみに、2015年には全米でミツバチの個体数の42%もの減少が見られたそうです。このままでは20年後にはミツバチがいなくなってしまうのではと危惧されています。

我が国では、都市の生物多様性の向上の観点から野鳥や蝶の飛来を促すような取り組みがよくなされていますが、単に生き物を都市に呼ぶことだけではその必要性がなかなか伝わってはいきません。しかし、ミツバチの人類への貢献度を鑑みると、都市養蜂は生物多様性を考える上でのシンボリックな取り組みになるかもしれません。

ちなみに、西洋では養蜂の歴史は古く、教会や貴族が中心に担ってきたこともあり、現在も比較的地位の高い人々が都市養蜂にいそしんでおり、一種のサロンとしても機能しているようです。パリでは沿道にマロニエが植わり、これが採蜜樹として適していることから、オペラ座の屋上でも養蜂がなされているようです。

我が国における都市養蜂の活用方法としては、都市の自然度の評価手法としてミツバチを活用することも考えられます。それは、ハチミツの採取量や質によって評価することですが、それ以前にミツバチはデリケートできれいな水がなければ生きてはいけません。ミツバチの存在自体が良好な自然の証でもあるのです。

我が国で都市の緑化に用いられている樹木は風媒花のものが多くに思いますが、ミツバチが利用できる樹木という観点からの緑化計画も面白いと思います。今後、機会がありましたら、そんな観点からの都市緑化の質の評価を行うための研究を手掛けてみたいものです。



養蜂に適した花（マロニエ）ウィーンにて



養蜂に適さない花（ハイビスカス）那覇市にて

プロフィール：

名古屋大学農学部卒業後、建設省（現国土交通省）に入省し、以後主に都市公園の整備を中心としたまちづくり全般に関する行政に関わってきた。その過程で、沖縄の首里城の復元事業や美ら海水族館整備事業、それに国営古野ヶ里歴史公園の計画策定をはじめとした各種プロジェクトの他、日本の伝統園芸植物の保全手法の研究などに携わってきた。2008年より国立研究開発法人建築研究所にて主に都市緑化に係る研究を進め、2017年4月より東京都市大学環境学部客員教授を務める。博士（デザイン学）。



さいたま市議会議員の都筑龍太先生



青年部会 関東・甲信越ブロック総会

東日本ブロックとして新体制となりましたが、その背景に

さいたま市議会議員の都筑龍太先生が、その背景に

さいたま市議会議員の都筑龍太先生が、その背景に

さいたま市議会議員の都筑龍太先生が、その背景に

さいたま市議会議員の都筑龍太先生が、その背景に



奈良カエデの郷ひらら（奈良県）

青年部会だより
青年部会関東・甲信越ブロック総会開催
東日本ブロック誕生へ
植島 春樹
(植島植木(株)・東京都)

平成30年1月17日埼玉県支部主幹の元、一般社団法人日本植木協会 青年部会 関東・甲信越ブロック 平成30年度通常総会が埼玉県大宮にて開催されました。総会では、以前から進められていた、「関東甲信越ブロック・東北ブロック 統合並びに新ブロック名称について」という議案が提出され、採決し承認されました。これにより、関東・

さいたま市議会議員の都筑龍太先生が、その背景に

リレー連載

うえきのちから ～植木が届ける宝物～

剪定で「木の社会的価値」を上げる

fan 景観設計 安 藤 聡 氏



「剪定」ってどうでしょう。私は街の木々を見てよく「もったいない」と感じてしまう。同時に剪定だけでも木の「社会的な価値」まで上げられると思っています。

街路樹も庭木も「意図せず不自然に剪定された木」が目立ちます。雑木の流行からもわかる通り、人工物で囲まれた現代の都市では自然の姿の木が求められています。しかし街では「伸ばしたまま」はできないことが多い。「自然樹形を維持したまま、木の大きさをコントロールする」剪定が課題になようです。特にナラ、ケヤキ、カシといった成長の早い高木陽樹は顕著で、成長とともに太い枝で切り詰められるようになり、いわゆる「ブツ切り」に近づきます。大きさを保つには「仕方ない」と思われがちなのですが、本当はどんな木でも本来の樹形を損なわずにコントロールすることが可能です。そしてしなやかな姿を損なうと木の健康も損なわれることが問題です。

自然樹形といえば「透かし剪定」ですが、多くの剪定の本を見ても街の木を観察しても、「大きさのコントロール」のための最も重要な視点が欠けているようです。それは「枝を世代交代させる」ことです。木は全体に世代交代のための枝を必ず用意しています。通常それらは樹冠の成長とともに光量不足で枯れていきますが、剪定によって光を通せばゆっくりと成長します。樹冠内にバランス良く次世代の枝を育てていれば、樹冠になっている枝を元から取り除くだけでそのまま一回り小さなサイズになります。数年先を見越して樹冠になる枝を胴吹きから育て、剪定のたびに樹冠を世代交代するということです。この「次世代の枝」がことごとく取り払われているようです。

「枝の世代交代」は、「野透かし」についてふれた文献で見られます。「雑木の庭」の起りが昭和初期ということは、長い造園の歴史で「自然の姿にするための剪定」が始まったのはつい最近ですが、現代では1つのスタンダードになるべき考え方だと思います。

木の姿は川の水系の姿と良く似ています。人の血管にも似ています。木はこうした「流れ」の構造がそのまま表出した姿と言えます。それは根元から徐々に細く枝分かれしていくことでスムーズで安定したものになります。太い枝の

切り詰めはダムの決壊のようなもので、徒長枝を噴き出します。地上の姿を映すように根も荒くなり、支持力、水や養分の吸収力も損なわれます。免疫力は低下し倒木のリスクが高まります。組織の柔らかい徒長枝で覆われた木は病害虫の格好の繁殖場所になります。

川の水系と支流はおおよそ相似形です。地図上で利根川水系から支流の鬼怒川をまるごと消してみても違和感がありません。適量適所で「支流」ごと枝を取り除けば、木が健全(樹液の流れがスムーズ)なままで、大きさもコントロールできることがイメージできます。切る箇所が少ないので、手間もかかりません。ブツ切りや刈り込みよりも早く終わらせることもできます。枝の伸長も緩やかになります。

この剪定が合理的なのは、「木の根本治療」や「土壌改良」の効果まであることです。果樹の味が良くなったと驚かれる事もあります。植物生理的に枝と根はそれぞれ対応しているといえます。剪定した姿を映す様に不要な根を枯らします。地上部を健全な樹形にすれば、地中でも細根が充実して吸収力も支持力も優れた根系にする事ができます。剪定による枯死根は土壌に有機物を供給するとともに、通気通水性を高めます。根圏微生物も活性化し、木が健康になる好循環が生まれます。

この「好循環」を作る事が「木の社会的価値を上げる」ことにつながります。木には優秀な「都市インフラ」という側面があるからです。「天然エアコン効果」「景観」「災害・公害緩和」…、木は人のために何役もこなしてくれます。現状は「毛虫」「倒木」「根上り」「落ち葉」などといったトラブルに焦点があたって避けられがちですが、これらの原因は人の木の扱い方による「人災」であることが多い。木は健康であるほど美しく「高性能」になります。

剪定で大体の木は2～5年で本来の樹形に再生できます。ある意味、5年で日本の街の景色を変えうと思うとすごい可能性を感じます。そのためにはやはり少しでも「ええな～」と感じてもらえるような木を増やしていくことが大事で、その方法を追求し提示していければと考えています。

安藤聡プロフィール

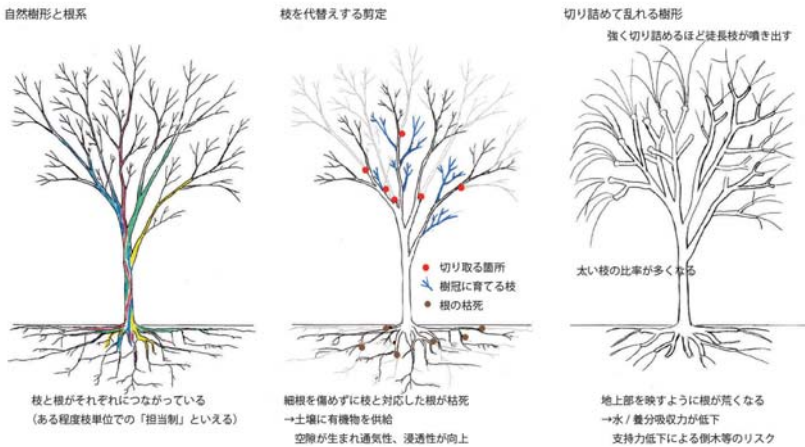
1982年生まれ。
都市計画専攻で立命館大学大学院修了。
花屋、屋内緑化事業、造園職人を経て fan 景観設計を設立。
庭の生態系を整えることで草木が持つ環境改善効果を引き出し、印象的な景色とともに「住まいの機能を高める」作庭を心がけている。
市街地での森づくり、空き地活用等のプロジェクトでまちづくりへのアプローチも行っている。

枝の代替えによる自然樹形の再生



はじめに不自然な太い枝を極力取り除き、胴吹きを多く残して育てる。 育った枝と太い枝を差し替えていく。細かく分枝し、伸長が穏やかになってくる。

剪定と根系への影響



お知らせ

歴史的快挙！ 荻巣樹徳さん殿堂入り
ー四川省植物研究の著名人九傑に選ばれるー

2017年12月16日、中国四川省の成都市植物園に植物科普館が開設され、それを記念して、植物の宝庫といわれる四川省の植物研究で多大な功績のあった9人が「四川植物界名人」(Famous People in the Plant Kingdom related to Sichuan)という栄えある称号を贈られて、殿堂入りした。そのうちの一人が荻巣樹徳さんで、殿堂入りの数少ない外国人の中で唯一の日本人。

荻巣さんを紹介する館内のパネルには、1982～83年、現代中国植物分類学のパイオニアであった方文培四川大学教授に師事し、以来1つの新属と60種以上の新種を発見(うち26種は四川省の植物とあり)、また6種の「幻の植物」[コウシンバラの野生種など、新種発見後その存在が長く再確認されなかったもの]を再発見し、『峨眉山植物』および『峨眉山植物名録』の執筆に関与し、著書『幻の植物を追って』は世界的な反響を呼んだと記されている。

9人のうち6人は、故方文培四川大学教授(Fang Wen-pe, 1899-1983;特に中国産ツツジ科やカエデ属植物分類の権威、教育者として五千人の植物学・林学の学生を指導、『峨眉山植物図誌』、『四川植物志』(他を著す)を筆頭とする中国人で、3人が、十九世紀後半に活躍したフランスのアルマン・ダヴィド神父(Jean Pierre Armand David, 1826-1900)、二十世紀前半に活躍した英国のナチュラリストで植物探検家のアーネスト・ヘンリー・ウィルソン(Ernest Henry Wilson, 1876-1930)、そして二十世紀後半を代表する四川植物界名人として文句なく選ばれた植物探検家の荻巣樹徳さん(1951年愛知県生れで9人中の存命最年少;四川大学名誉研究学者)である。

荻巣さんは、四川植物界で「ウォーキング ディクショナリ」(四川省の植物をほぼ知り尽くした「歩く植物辞書」)と呼ぶ人もいるほど同省の植物に詳しい。四十年前中国の開放政策を機に外国人として初めて奥地に足を踏み入れ、野外調査の移動距離は現在まで40万キロ以上、四川省を中心とする中国西南部に限れば20万キロを超え、その踏査距離は中国国内でも氏の右に出る研究者は少なく、外国人ではまずいない。

外国人として選ばれたダヴィド神父やウィルソンは、中国の動植物を世界に科学的に紹介した斯界の著名人。その彼らに肩を並べて選ばれたということは、まさに歴史的快挙である。ちなみにダヴィド神父はハンカチノキを見出したことで知られるが、ジャイアントパンダや金糸猴(golden monkey)の紹介者としても有名。ウィルソンは「Chinese Wilson」の渾名が物語ったように、中国植物の紹介者として他の追随を許さぬ植物探検界の巨人だった。

荻巣さんは一方で、知る人ぞ知る、絶滅の危機に瀕している日本の伝統園藝植物の保存継承に心血を注いでいる人物である。世界への植物学的貢献もさることながら、伝統園藝植物文化の守り手としての活動も、欧米をはじめとする諸外国で高く評価されている。

荻巣さんの殿堂入りを祝福する

荻巣さんの「四川植物界名人」の称号授与と殿堂入りを心から祝福したい。荻巣さんは中国の開放とほぼ同時に四川大学で著名な方文培先生に師事され、中国植物を研究し、多数の新植物を中国で発見され、世界の植物学者に提供し、中国植物研究に新時代を開いた。また長らく未発見だったコウシンバラの野生株を発見するなど、園芸界への貢献も少なくない。今回殿堂入りした9人のうち、外国人は3名で、荻巣さんは唯一の、20世紀後半の代表者であり、現存者である。これまでのご活躍が正に評価されたわけで、その選任者の見識にも敬意を表したい。 大場秀章氏(東京大学名誉教授、植物学)

第20回日本農林漁業のトップリーダー発表大会

厳しい国際情勢に打ち勝ち、競争力のある林業水産業経営をトップに学ぼう

日時 平成30年3月8日(木)10:00～16:30

会場 東京大学弥生講堂一条ホール(文京区)

会費 会場費・資料代として2,000円(学生500円)

主催 日本農林漁業振興協議会(会長 武部勤)

申込 jfc@blue.ocn.ne.jp 日本農林漁業振興協議会まで

第12回「みどり香るまちづくり」
企画コンテスト表彰式及び記念イベントの開催

日時 平成30年3月16日(金)13:15～16:15

講演 近藤三雄氏(東京農業大学名誉教授)

テーマ 「東京五輪に向け、みどり香るまちづくりを広げよう。のぞみの園、(一社)日本植木協会の「香りの新樹種見本園」を核として(仮称)

場所 日比谷コンベンションホール・大ホール(千代田区)

定員 50名(先着順) 申込 平成30年3月2日(金)まで

申込先 (公社)日本アロマ環境協会公式サイト内

【お詫び】 緑化通信462号 大谷(おおや)崩れ植生調査報告の委員会名を地域性植物適用委員会に訂正

会 員 動 向

代表者・住所変更

▷(有)正木樹芸研究所
新 正木緑郎
旧 正木伸之
▷(有)熊本植木センター
新 佐土原周二
旧 佐土原良二
新 熊本県熊本市東区
佐土原1-14-15

退会

▷ハシモトナーセリー
(愛知県) 橋本利正

訃 報

白田禮子様(茨城県)
白田農園(白田清郎氏の妻)
平成30年1月24日没
享年89歳